

UNIMO 2

キッチンユニット収納
[ユニモ2]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



内装専用の製品です。屋外での使用はできません。

屋外禁止



施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。

キズ注意



屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。

水・湿気禁止



木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。

火気厳禁



溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

溶剤厳禁

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容を、ご理解のうえ、正しく安全に施工を行なってください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。		本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。	
警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。		「してはいけない」を示します。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 (※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。		「必ず行なっていただくこと」を示します。

警告	指定された部品以外の使用禁止。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
	製品にぶら下らない。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
	レールの固定確認。 レールが確実に固定できているか必ず確認してください。 固定が不十分な場合、部材の落下原因になり危険です。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

注意	スムーザーの分解・改造禁止。 スムーザーを扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、開閉速度に変化が生じ、非常に危険ですので絶対に行わないでください。
	下地補強を必ず行なう。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下地は木下地を使用してください。
	施工・取付作業は必ず2人以上で行なう。 破損・ケガのおそれがあります。

ご注意 このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

その他の施工に関する注意事項

スムーザーについて

- スムーザーは扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する部材です。
指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
- スムーザーが作動する際、カシャという音が発生します。
- 扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。
- 施工前に下記の「躯体準備」を充分ご確認のうえ、施工してください。
- 指定のボルト・ビス止め箇所は確実に実施してください。施工時は傷がつかないように注意してください。
- 電動工具でビス頭がつかないように、締めすぎにご注意ください。

施工時の製品取り扱いに関する注意事項

- 扉の上レールや扉本体に、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、吊車やレールの摩耗の原因となり正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
- 扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。
- 扉本体が汚れた場合、アルミ部分は布スポンジなど柔らかいものを使い、洗剤は必ず台所用中性洗剤を薄めて使用してください。パネル部分はパネルについているゴミやほこりなどを柔らかいハンドモップなどで軽く拭いた後、水で200倍程度に薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 製品の位置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、扉は壁に立てかけずに保管してください。
- 施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようご注意ください。特に床は養生を行ない、製品および床面にキズがつかないようにご注意ください。
- 現場の建築完了まで、扉本体を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

目次

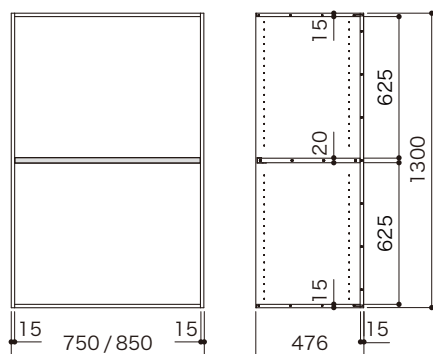
製品図面・パーツセット明細	1～3
躯体準備	3
施工手順	4～14
ユニット	4～9
アルミ引違戸	10～14

製品図面・パーツセット明細

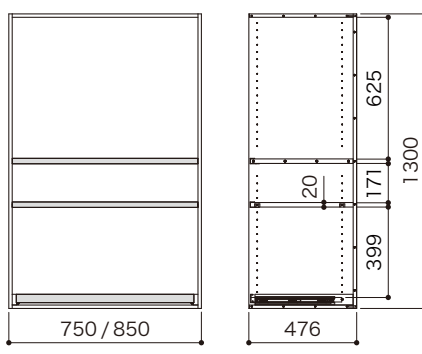
寸法単位:mm

内部ユニット 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

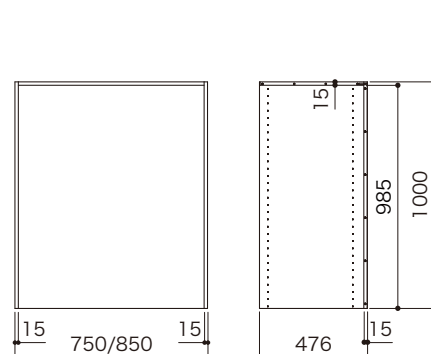
トップユニット オープン



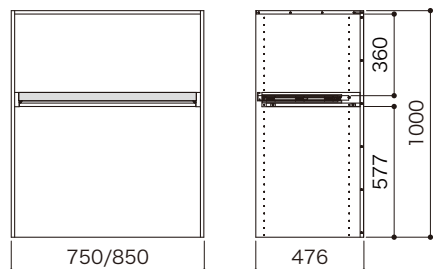
トップユニット スライドテーブル



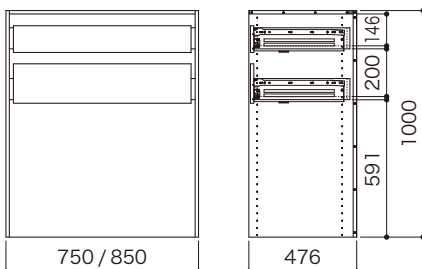
フロアユニット オープン



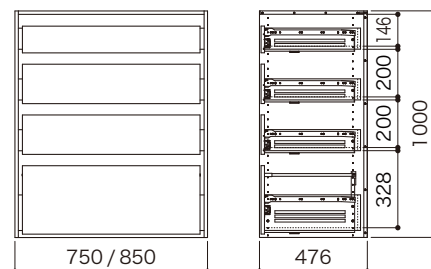
フロアユニット スライドテーブル



フロアユニット 2段引出し



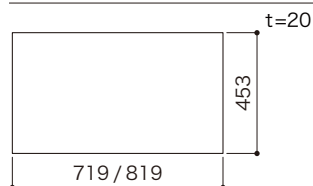
フロアユニット 4段引出し



部品	パーツ	ビスL=65	ビスL=30	バインドビスL=30	バインドビスL=16	ビスキャップセット	コ型カバー	樹脂金具	施工・取扱説明書	シール
	トップユニット	4本	6本	—	—	6セット	1本	—	1式	1シート(2枚付き)
	フロアユニット	2本	2本	2本	5本	4セット	—	3個	—	—

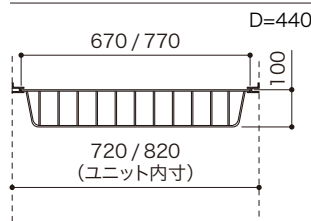
オプションパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

可動棚板



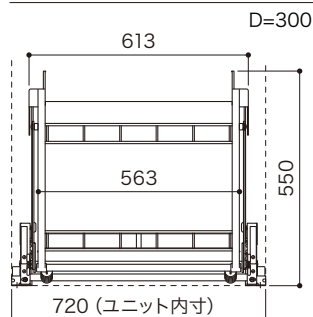
部品	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	左右各1個	2個

バスケット



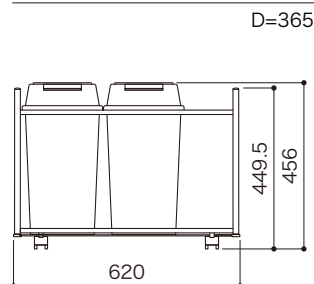
部品	レール	ビスL=16
	※左右共通 2本	(ホワイト) 6本

昇降ユニット



部品	固定金具	連結ネジ	固定金具取付ネジ
	左右各1個	2本	10本

ダストワゴンセット

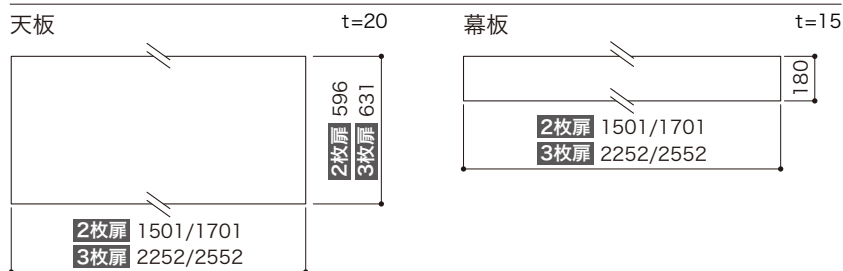


製品図面・パーツセット明細

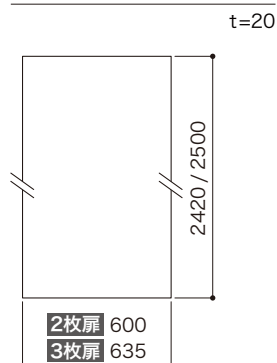
寸法単位:mm

扉・納め材関係 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

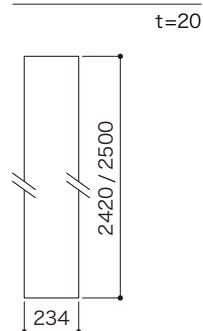
天板・幕板セット



エンドパネル



エンドフィラー



部品	ビスL=38	ビスL=32	ビスキャップセット	バインドビスL=16	樹脂金具
	6本	8本	8セット	12本	6個

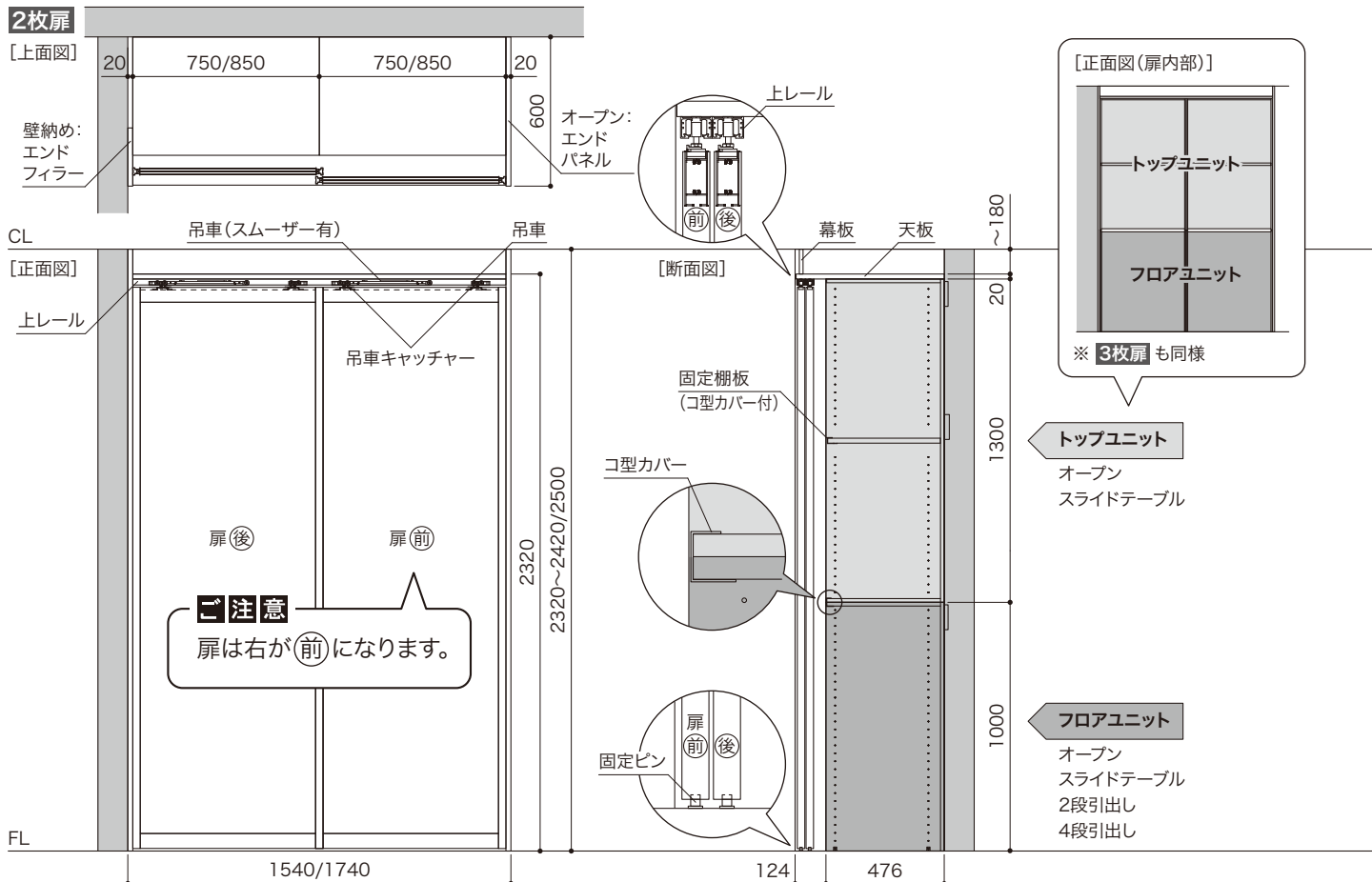
部品	ビスL=32	ビスキャップセット
	10本	10セット

※エンドパネル・エンドフィラー共通

アルミ引違戸 レールセット

部品	パーツ	上レール	吊車	吊車(スムーザー有)	皿ボルトL=20	スムーザー受け金具セット	固定ピンセット	下レール	ビスL=16	スパナ
	2枚扉 W1500/1700	2本	2個	2個	12本	4セット	2セット	—	—	1個
	3枚扉 W2250/2550	3本	3個	3個	24本	6セット	—	1本	12本	1個

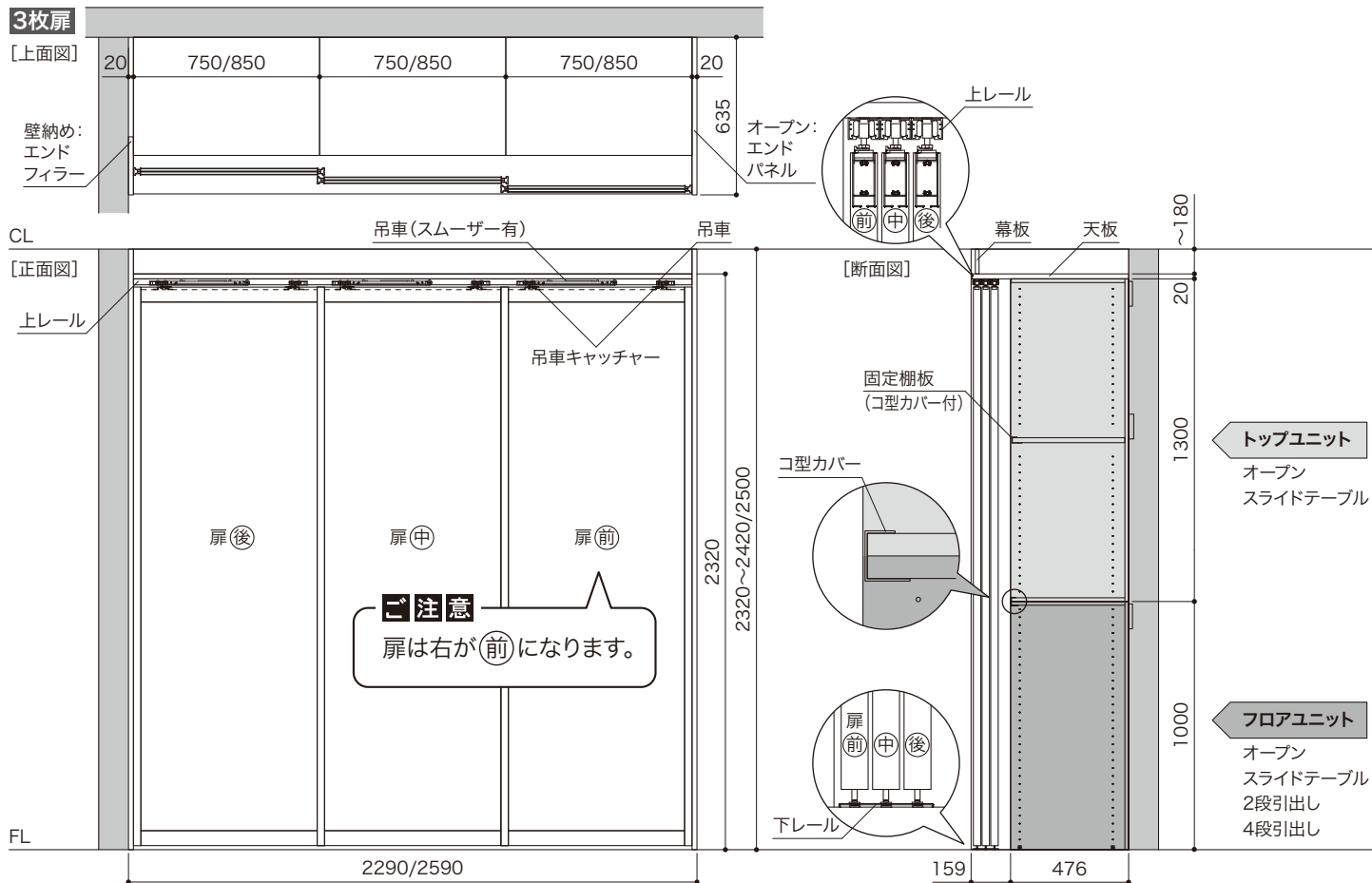
設置寸法(製品全体寸法)



製品図面

寸法単位:mm

設置寸法(製品全体寸法)



躯体準備

寸法単位:mm

下地補強設置位置

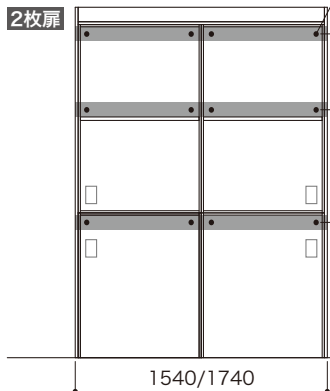
- 施工前に躯体の水平・垂直を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- あらかじめユニットをビス固定する部分に12mm厚以上の合板(現場調達)で下地補強をしてください。(右図参照)
- 床板にビスL=16を打ちつけるので12mm厚以上のフローリングなどを使用し、施工を行ってください。

注意

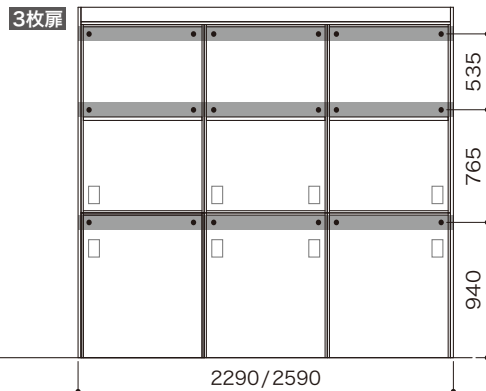
ユニット本体は、必ず壁面・床面に固定してください。壁面の下地処理が不充分だと転倒・脱落の原因となります。

■ : 下地補強位置

2枚扉



3枚扉



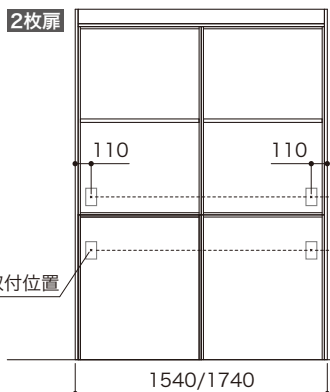
電源線推奨位置

- コンセントが必要な部分は、あらかじめ壁に電源線を配線してください。(右図参照)

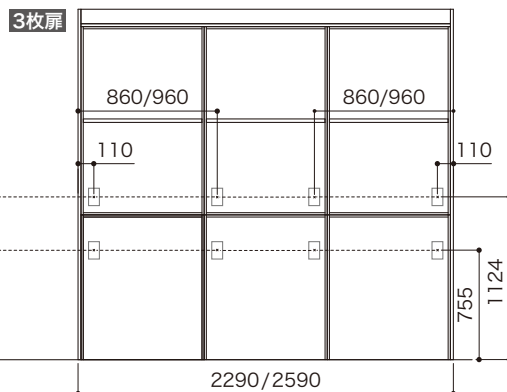
注意

コンセント器具の取り付け、結線は必ず電気工事士が行ってください。

2枚扉



3枚扉

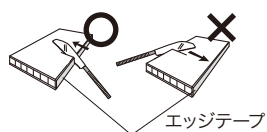


1 事前準備

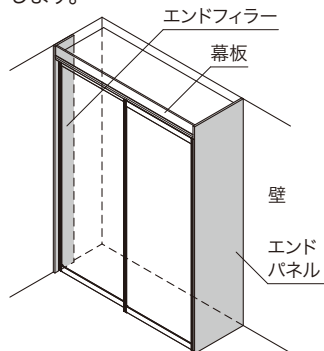
- 1 高さに合わせてエンドパネル・エンドフィラーをカットする**
壁側にはエンドフィラー、オープン側にはエンドパネルを使用します。

ご注意

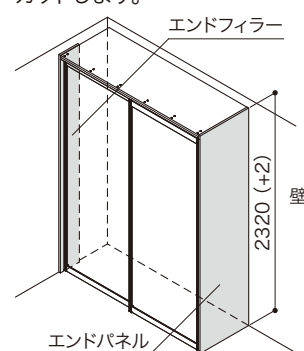
必ずエッジテープ側からカットしてください。



- 【天井いっぱいに納める場合】**
天井の高さに合わせてカットします。



- 【ユニット上を空ける場合】**
ユニットの高さに合わせてカットします。



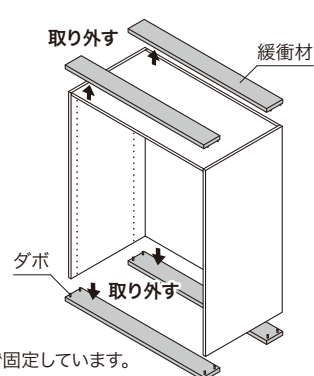
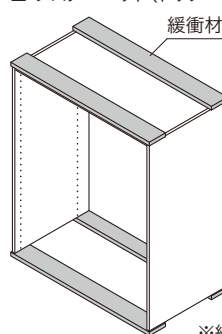
- 2 ユニットの緩衝材を取り外す**

トップユニット／フロアユニットの梱包材を取り、ユニット上下に取り付けてある緩衝材を取り外します。

ご注意

フロアユニットの緩衝材は**6**で使用するので保管しておいてください。

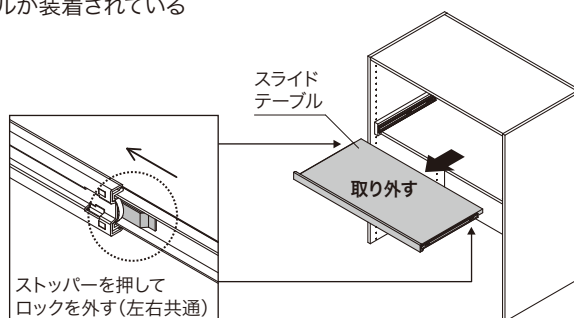
- フロアユニット (トップユニットも同様)



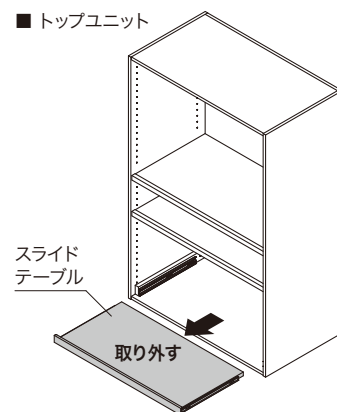
- 3 スライドテーブルをユニットから取り外す**

トップユニット／フロアユニットにスライドテーブルが装着されている場合は、ユニットから取り外してください。

- フロアユニット



- トップユニット



- 4 コンセント取り付けの準備 (コンセント設置の場合のみ)**

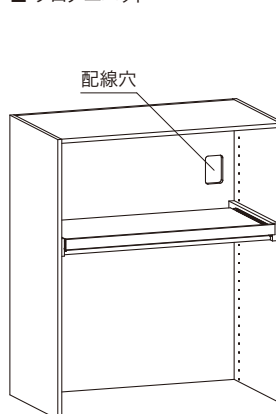
ユニット背板に、電源線の位置に合わせてコンセント取り付けに必要な配線穴を開けてください。

(穴空け位置: **躯体準備 P3**)

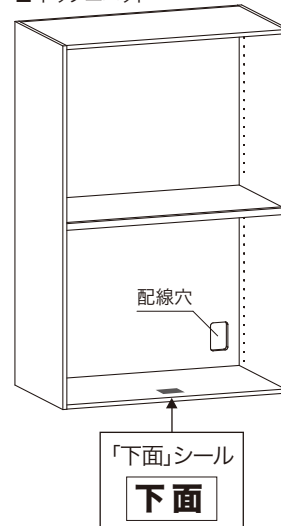
ご注意

トップユニットには上下があります。配線穴は下部にあけてください。

- フロアユニット



- トップユニット



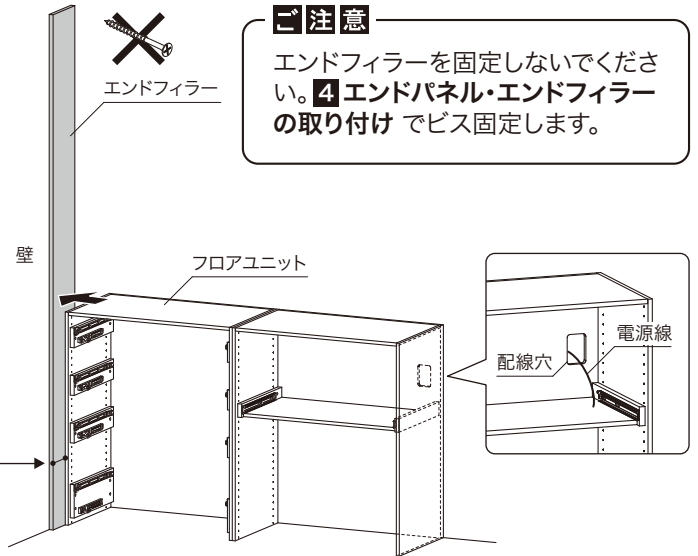
2 フロアユニットの取り付け

フロアユニットと壁でエンドフィラーを挟み、フロアユニットを取り付けます。

1 エンドフィラーを仮置きしフロアユニットで挟む

エンドフィラーをフロアユニットで壁に押し付け挟みます。
コンセントの取り付けがある場合は、あらかじめ壁に配線しておいた電源線をフロアユニットの配線穴から取り出します。

※オープン施工(両側壁なし)の場合は、**4 エンドパネル・エンドフィラーの取り付け**で両側のエンドパネルを設置・固定してください。



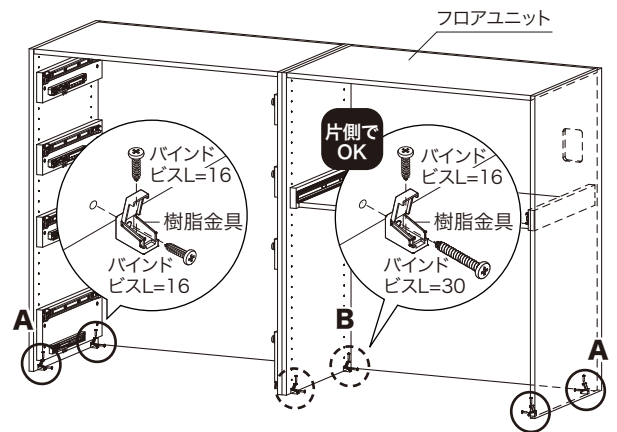
ユニット側板前面からの出が
2枚扉 124以上 / 3枚扉 159以上になるよう、挟み込んでください。

2 フロアユニット側板を床に固定

床面へ側板下部を樹脂金具で固定し、ユニット同士の側板下部を樹脂金具(バインドビスL=30)で連結し、床面へ固定します。

ご注意

- ユニットに引出しレールがある場合は、引出しのないユニット側から取り付けてください。(樹脂金具の取り付けが容易なため)
- バインドビスの締め過ぎにご注意ください。
- フロアユニットを固定する際は、ユニット下部の内寸を必ずお守りください。
あとで、スライドテーブルなどが入らなくなったり、動作が悪くなるおそれがあります。



A フロアユニット側板下部[両端]

樹脂金具…前後計4カ所

B フロアユニット側板下部[連結固定]

2枚扉 樹脂金具…前後計2カ所

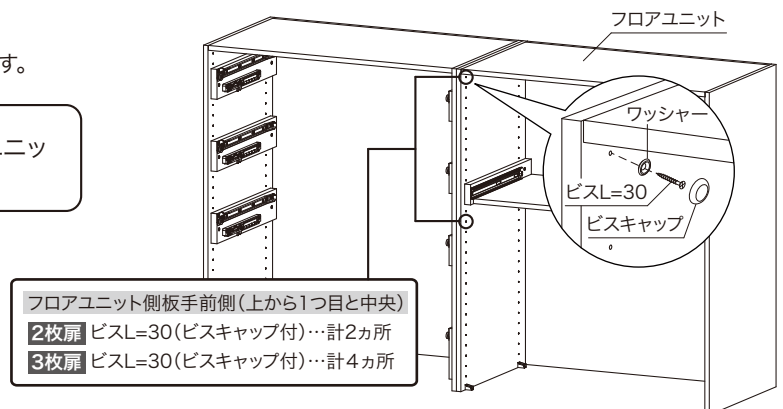
3枚扉 樹脂金具…前後計4カ所

3 フロアユニット左右の連結

左右のフロアユニットをビスL=30(ビスキャップ付)で連結します。

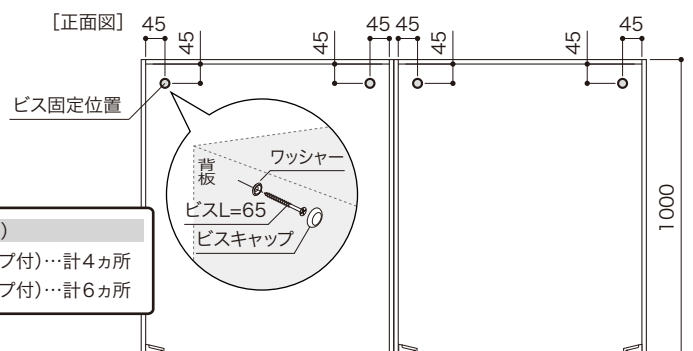
ご注意

ユニットに引出しレールがある場合は、引出しのないユニット側から取り付けてください。(ビス打ちが容易なため)



4 フロアユニットを背壁に固定

フロアユニット背板から背壁に向かってビスL=65(ビスキャップ付)で固定します。



フロアユニット背板(下穴なし)

2枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計4カ所

3枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計6カ所

3 トップユニットの取り付け

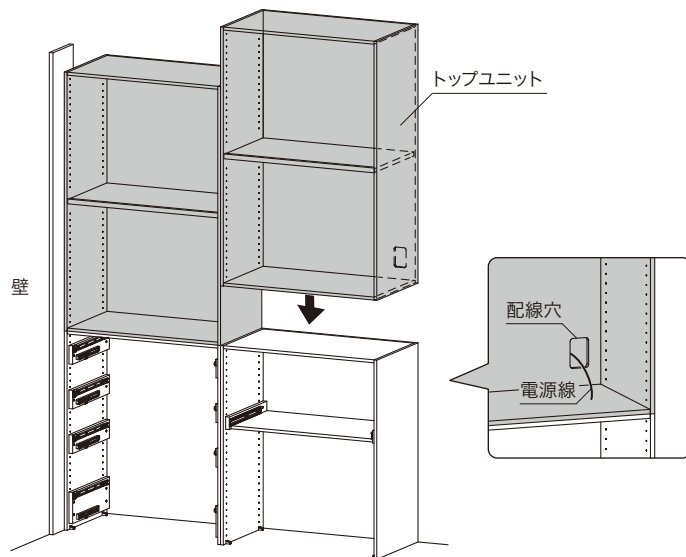
トップユニットを載せ、コ型カバーを取り付け、連結・固定をします。

1 トップユニットを載せる

フロアユニットの上にトップユニットを載せます。
コンセントの取り付けがある場合は、あらかじめ壁に配線しておいた
電源線をトップユニットの配線穴から取り出します。

二 注意

- トップユニットの上下をお確かめの上、取り付けを行ってください。
- トップユニットを載せる時に、上下ユニットのたてラインが揃うように配置してください。
コ型カバーが入らなくなるおそれがあります。

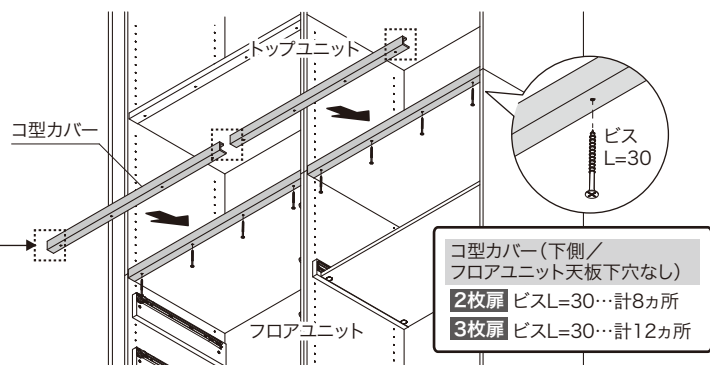
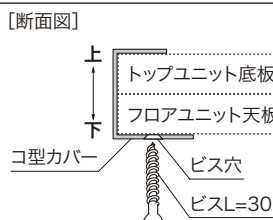


2 コ型カバーの取り付け

下図を参照し、コ型カバーをユニットに差し込み、コ型カバー下面のビス穴からビスL=30で固定します。

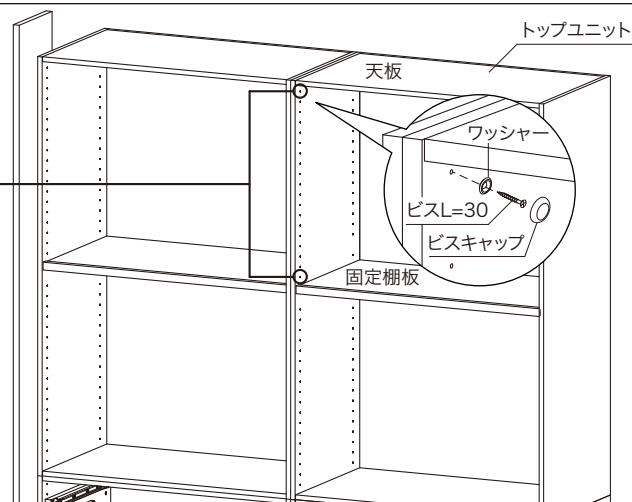
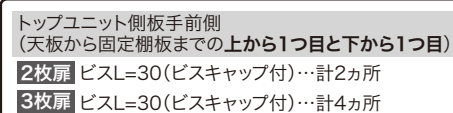
二 注意

コ型カバーの両端は切りっぱなしのため、挿入の際はユニットを傷つけないよう、ご注意ください。



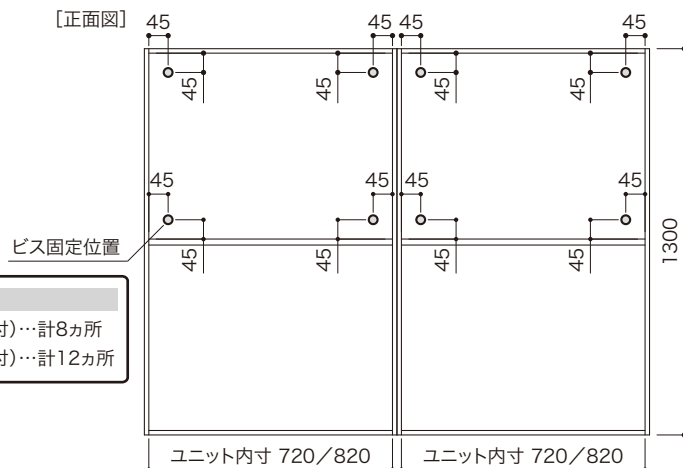
3 トップユニット左右の連結

左右のトップユニットをビスL=30(ビスキャップ付)で連結します。



4 トップユニットを背壁に固定

背壁ヘトップユニットをビスL=65(ビスキャップ付)で固定します。



4 エンドパネル・エンドフィラーの取り付け

ユニットの内側より、両側のエンドパネル・エンドフィラーをビスL=32(ビスキャップ付)で固定します。

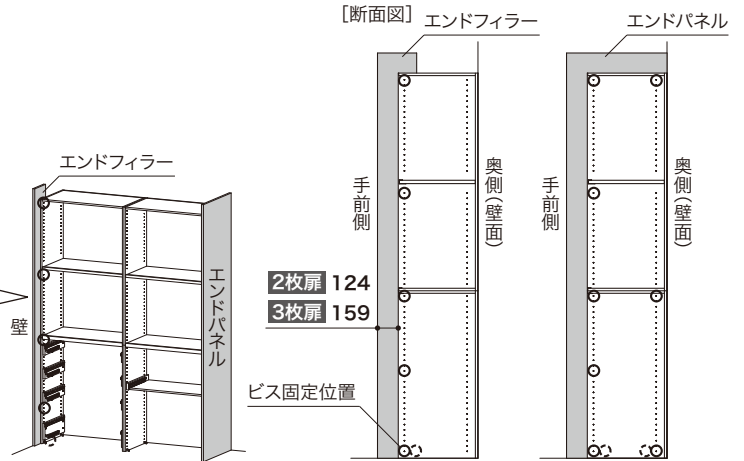
ご注意

エンドパネル・エンドフィラーは正しい位置にビス打ちし、垂直になるよう固定してください。

エンドフィラーは当て木をあて、ハンマーでたたきながらユニットからの出度を調整し、ビスで固定してください。



2枚扉 124/
3枚扉 159



エンドパネル(ユニット内側)

エンドフィラー(ユニット内側)

ビスL=32(ビスキャップ付)…片側8カ所 ビスL=32(ビスキャップ付)…片側5カ所
※4段引出しの場合、樹脂金具付近にビス固定してください。(上図○・下穴なし)

5 天板の取り付け

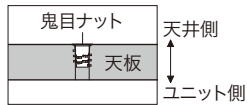
トップユニットの内側より、天板をビスL=32(ビスキャップ付)で固定します。

ご注意

下図を参照に天板の向きを間違えないよう、ご注意ください。

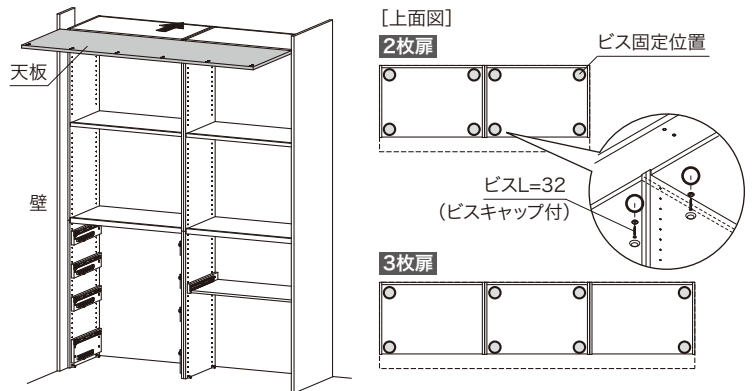
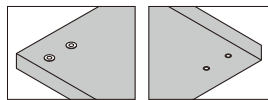
[断面図]

※鬼目ナットを埋め込んでいます。



[天板上面]

[天板下面]

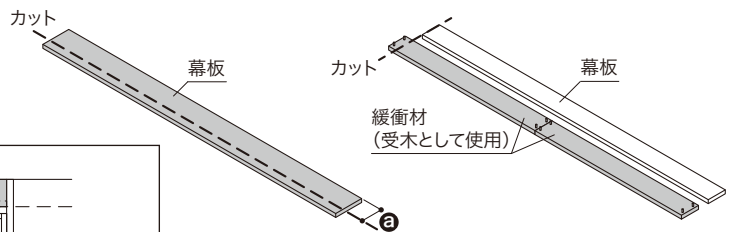
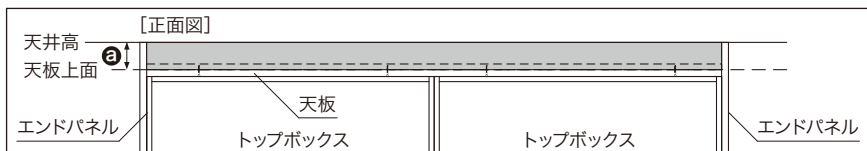


天板(トップユニット内側) ビスL=32(ビスキャップ付)…計8カ所(下穴なし)

6 幕板の取り付け

1 幕板、緩衝材のカット

幕板を天板上面から天井高の高さ(Ⓐ)にカットします。
また、1-2でとっておいだ緩衝材(受木として使用)を並べ、幕板の長さに合わせてカットします。

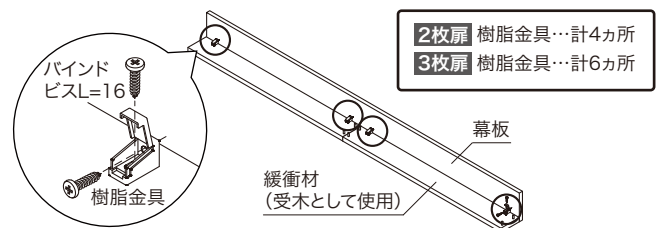


2 幕板の固定

幕板と緩衝材(受木として使用)をバインドビスL=16を使って樹脂金具でL型に固定します。

ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。

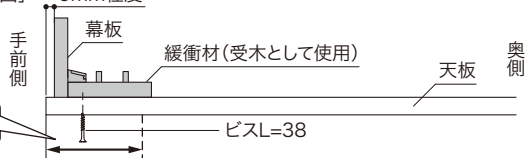


3 天板下面より受木を固定

幕板を天板手前より5mm程度内側に配置し、下図を参考に天板下面より緩衝材(受木)をビスL=38で固定します。

[断面図]

5mm程度

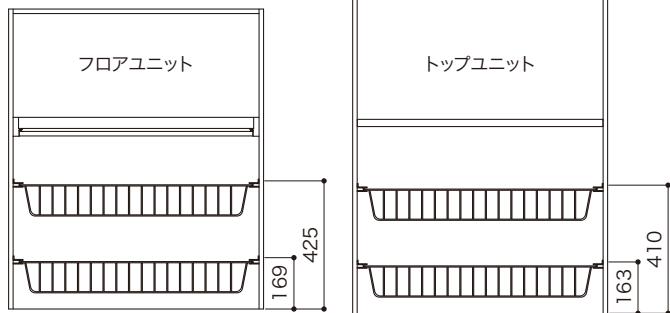


ビス固定位置: 前面より70mm以内

7 バスケットの取り付け (バスケットを取り付ける場合のみ)

下図の寸法を参考に、バスケットを各ユニットに取り付けてください。

[取付推奨位置]

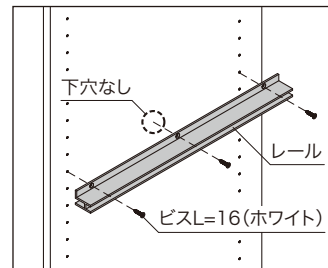


1 レールの取り付け

レールをユニット側板のダボ穴に、ビスL=16(ホワイト)を使って固定します。※側板の真ん中は下穴なし

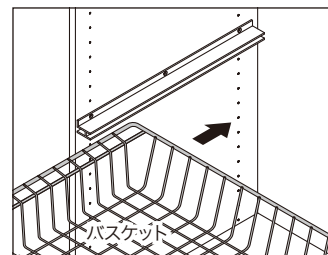
【注意】

ビスを強く締めすぎないようにしてください。
レールが破損するおそれがあります。



2 バスケットの取り付け

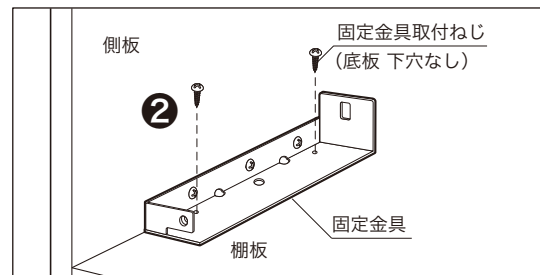
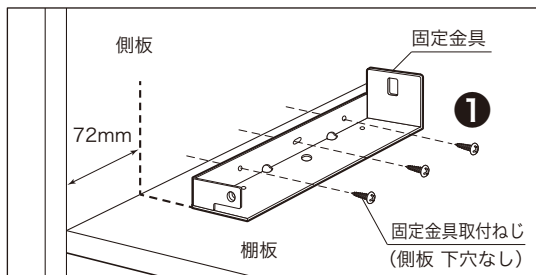
レールにバスケットを差し込みます。



8 昇降ユニットの取り付け (昇降ユニットを取り付ける場合のみ)

1 固定金具の取り付け

固定金具をトップユニットの左右の側板と棚板に固定金具取付ねじで固定してください。(片側5カ所)

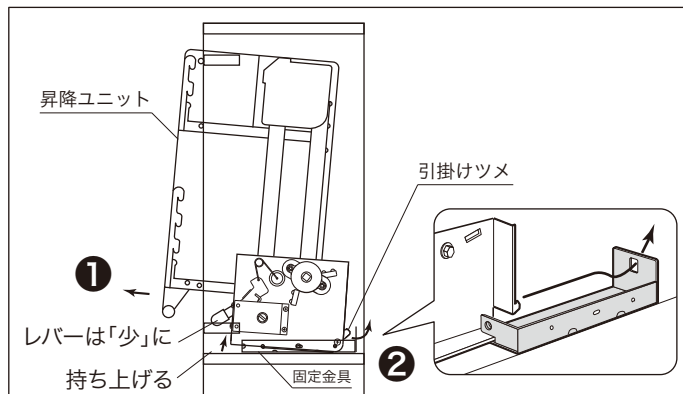
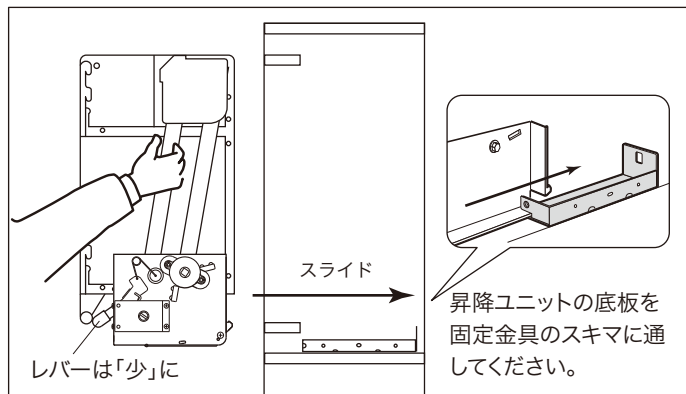


2 昇降ユニットの取り付け

昇降ユニットをトップユニットの中へスライドさせ入れてください。

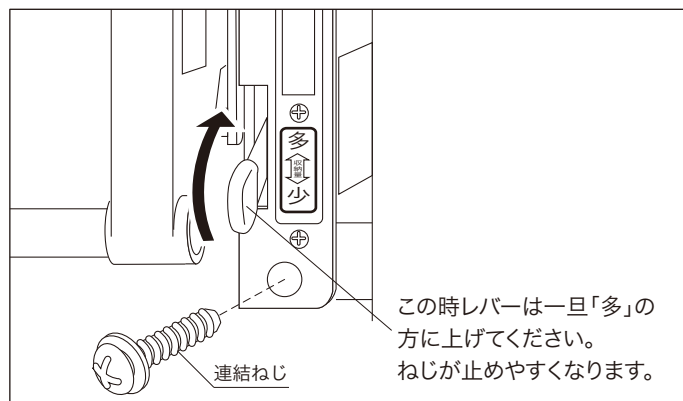
※作業は2人で行なってください。

昇降ユニットを少し前に引き出し、前部を持ち上げ、引掛けツメを固定金具の穴に差し込みます。



3 昇降ユニットの固定

引掛けツメが確実に固定金具に掛かったことを確認し、トップユニットの中心に昇降ユニットがくるように左右の空間を均等にして連結ねじで左右とも固定してください。



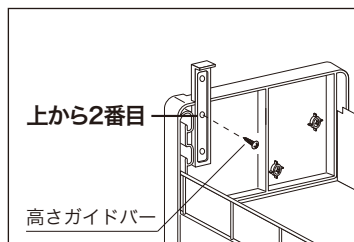
4 高さガイドバーの調整

高さガイドバーは物を収納する際、高さの目安となります。

高さガイドバー(左右計2本)のねじを一旦はずし、右図のように高さを調整し、再度ねじを締めてください。

昇降ユニット取り付け後、以下の点をご確認ください。

1. 取扱説明書の使用方法を参照し、4〜5回昇降動作を確認してください。
2. 再度、ボックス本体の壁面固定強度とねじの固定を確認してください。
3. 取扱説明書をお使いになる方に渡してください。



※以下はアルミ引違戸取り付け後に行なってください。

9 引出し・スライドテーブル・可動棚板のセット/シール貼り付け

最初に取り外しておいたスライドテーブルや別梱包の引出しをユニット本体にセットし、可動棚板をセットします。また、スライドテーブルは表面を保護しているシートを剥がしてください。

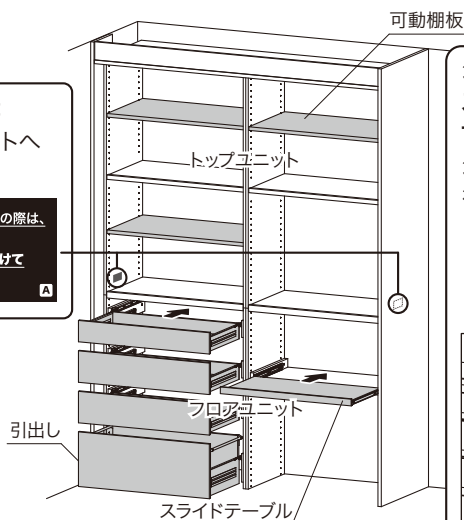
最後に同梱のシールをトップユニット両サイドの側板に貼り付けてください。

ご注意

- スライドテーブルを無理に押し込まないでください。破損のおそれがあります。
- シールはダボ穴を避けて貼ってください。ダボ穴上には貼らないようご注意ください。

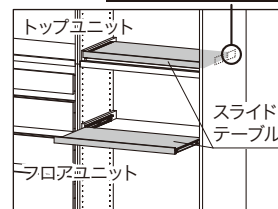
シール「A」:
トップユニットへ
貼り付け

家電製品をご使用の際は、
必ずユニット前の
アルミ引違戸を開けて
ご使用ください。



シール「B」:
スライドテーブルを2段設置
する場合、上記で貼り付けた
シール「A」の横にシール「B」
を貼り付けてください。

フロアユニットのスライド
テーブルで換気のでる家電
製品などを使用する際は、
トップユニットのスライド
テーブルを完全に押し込
んだ状態にしてください。

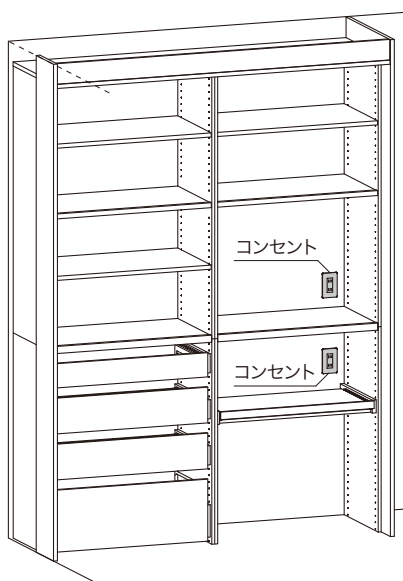


10 コンセントの取り付け

結線後、配線穴部分にコンセントを取り付けます。

ご注意

コンセント器具の取り付け、結線は必ず
電気工事士が行なってください。



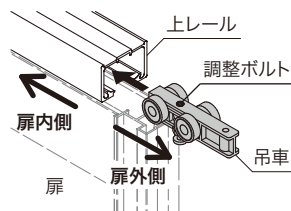
1 上レールへ部品の取り付け

上レールへ吊車、吊車(スムーザー有)を【取り付け向き参考図】を参照して正しい向きにセットしてください。

ご注意

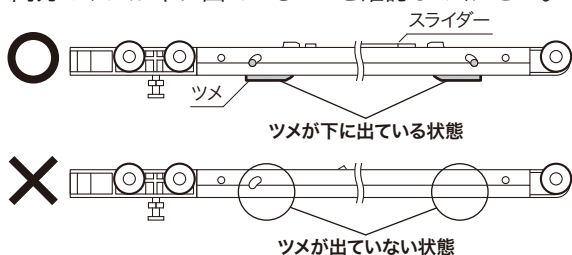
●吊車の挿入前確認事項

調整ボルトが扉内側に
向くように取り付けて
ください。



●吊車(スムーザー有)の挿入前確認事項

両方のツメが下に出ていることを確認してください。

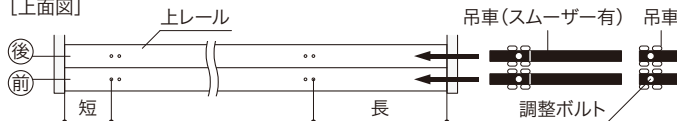


【取り付け向き参考図】

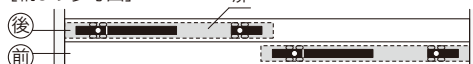
スムーザー受け金具下穴位置= ..

2枚扉

【上面図】

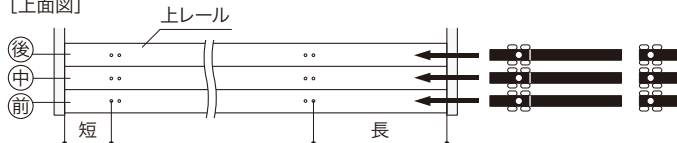


【納まり参考図】

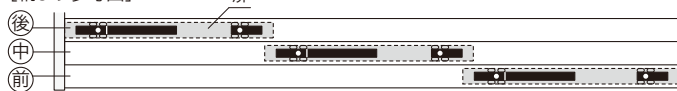


3枚扉

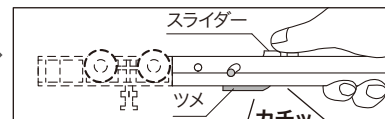
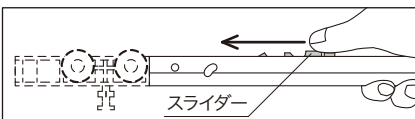
【上面図】



【納まり参考図】



ツメが出ていない場合、スライダーを指やマイナスドライバーなどでスライドさせてください。
左右両方のツメが出れば調整完了です。

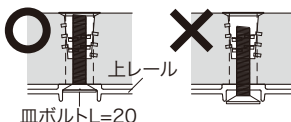


2 上レールの取り付け

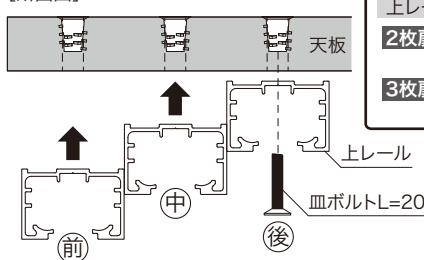
上レールを皿ボルトL=20mmで天板部分に(後)から順に1本ずつ、
上レールビス穴から天板の下穴へ向かって固定します。

ご注意

- 上レールは現場でカットしないでください。
- 上レール位置が開口部に対してずれていると、開閉時動作が悪くなるので正しく取り付けてください。
- 上レール内に、木くずやゴミが入らないようにご注意ください。ゴミが入っているとソフトクローズ機能が低下するおそれがあります。
- 上レールを皿ボルトで取り付ける際は、電動ドリルを回しすぎないようにご注意ください。
- 上レールの凹部にビス頭が出ないようにご注意ください。



【断面図】

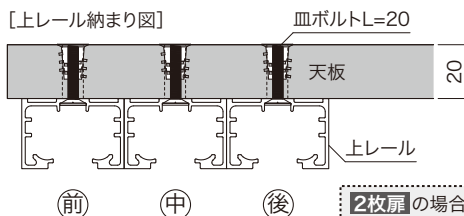


上レール

2枚扉 皿ボルトL=20...6カ所/1本
計12カ所

3枚扉 皿ボルトL=20...8カ所/1本
計24カ所

【上レール納まり図】



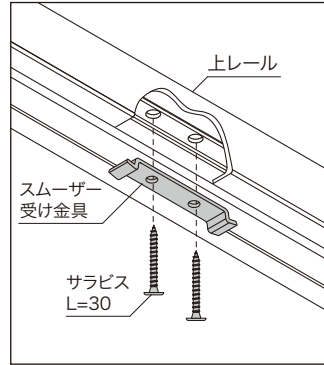
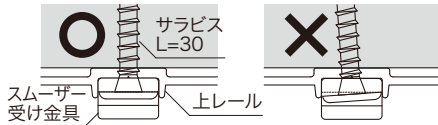
2枚扉の場合は(中)がない状態です。

3 スムーザー受け金具の取り付け

図を参考に上レールにあいている下穴に
スムーザー受け金具を取り付けます。

ご注意

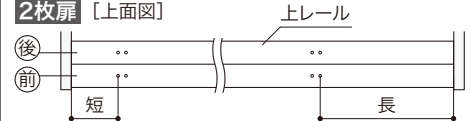
直角にビス打ちしてください。
ビス頭が出ていると、吊車(スムーザー有)
と干渉するおそれがあります。



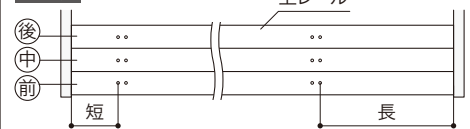
【下穴位置参考図】

スムーザー受け金具下穴位置= ..

2枚扉 [上面図]

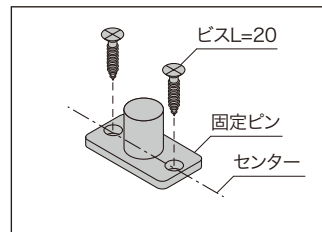


3枚扉 [上面図]

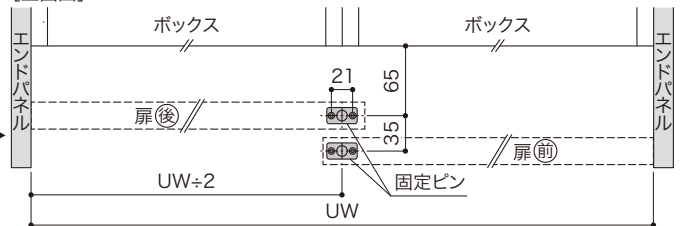


4 固定ピン、または下レールの取り付け

2枚扉 図の指定位置に、固定ピンをビスL=20で固定します。



【上面図】



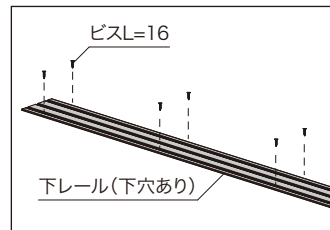
扉(後): ボックス手前から65mmの位置が固定ピンのセンターとなります。

扉(前): 扉(後) 固定ピンのセンターから35mmの位置が固定ピンのセンターとなります。

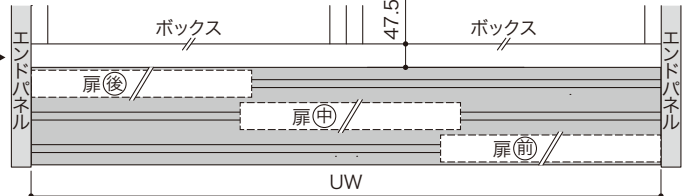
3枚扉 図の指定位置に、下レールをビスL=16で14カ所固定します。

ご注意

下レールの凹部にビス頭が出ないよう、床に対して直角に
ビス打ちしてください。ビス頭が凹部に出ていると、ガイド
ピボットと干渉するおそれがあります。



【上面図】



ボックスから47.5mm離して下レールを設置します。

5 扉の取り付け

扉は⑥から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行ってください。作業はこの繰り返しとなります。

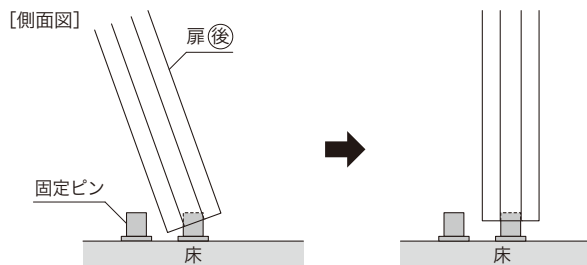
ご注意

吊車の調整ボルトが扉と干渉しないようご注意ください。(調整方法詳細は 6 参照)

2枚扉

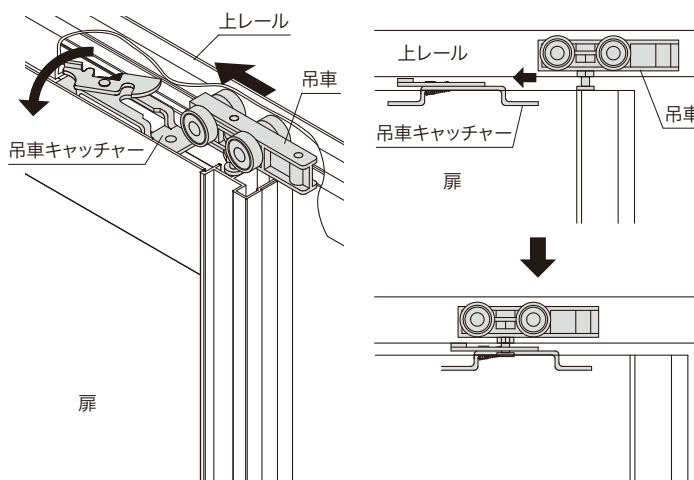
1 下部(扉⑥)の取り付け

固定ピンにゆっくりと、扉⑥の溝をはめ込みます。扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



2 上部(扉⑥)の取り付け

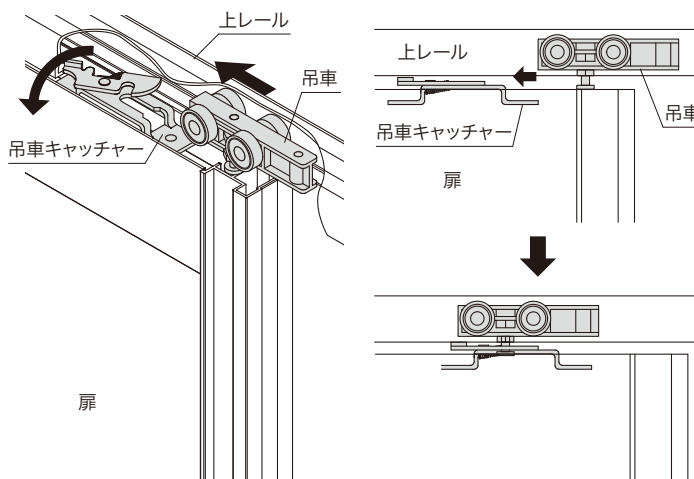
扉⑥を垂直にして、上レールの吊車を、扉の吊車キャッチャーに挿入し固定します。



3枚扉

1 上部(扉⑥)の取り付け

扉⑥を垂直にして、上レールの吊車を、扉の吊車キャッチャーに挿入し固定します。

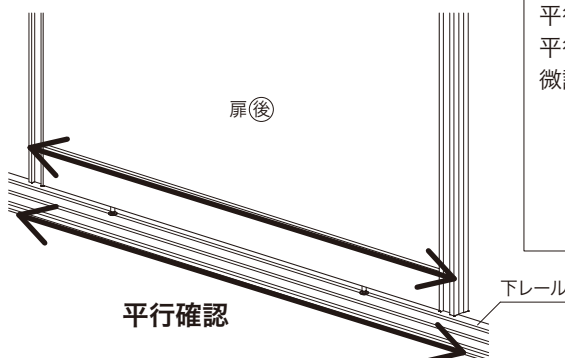
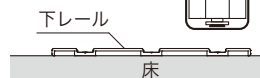


2 下部(扉⑥)の取り付け

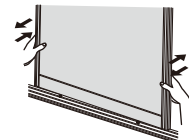
扉⑥と下レールの溝が平行になっていることを確認し、ガイドピボットを下レールの後側に挿入します。

【側面図】

マスキングテープ
マスキングテープは平行を確認した後に剥がしてください。



平行でない場合は下レールと平行になるよう、扉の向きを微調整してください。

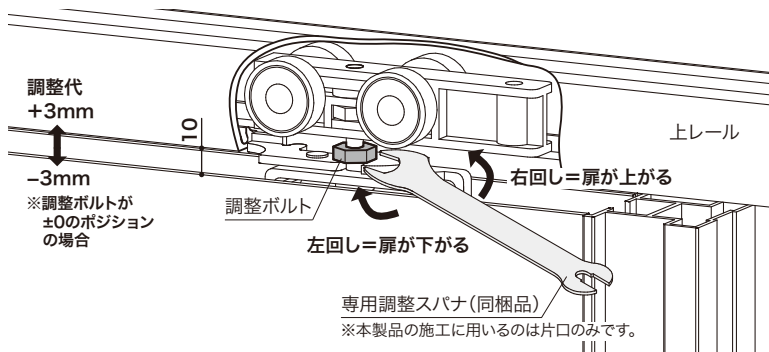


6 高さの調整方法

吊車の調整ボルトを専用調整スパナ(同梱品)で左右に回して扉の高さを調整します。

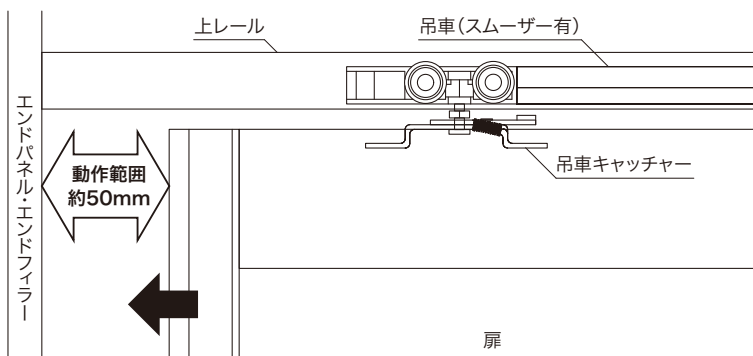
ご注意

調整代 $\pm 3\text{mm}$ 以上の調整を行なった場合、引違戸の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。



7 スムーザーの動作確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。



スムーザーが正常に機能していない場合は、下記に記載しているスムーザーの自動復帰を行ってください。

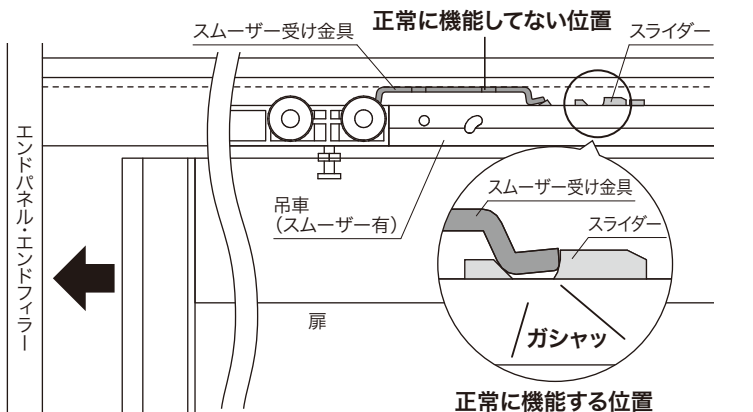
スムーザーの自動復帰 (スムーザーが正常に動作しない場合のみ)

1 扉を全閉

扉を戸先側に動かし、全閉してください。
左右どちらかが10mm程手前で一度扉が止まりますので、最後まで閉め切ってください。
スライダーがスムーザー受け金具を乗り越えるとガシャッと音がします。

ご注意

必ずエンドパネル・エンドフィラーに当たるまでゆっくりと強く全閉してください。

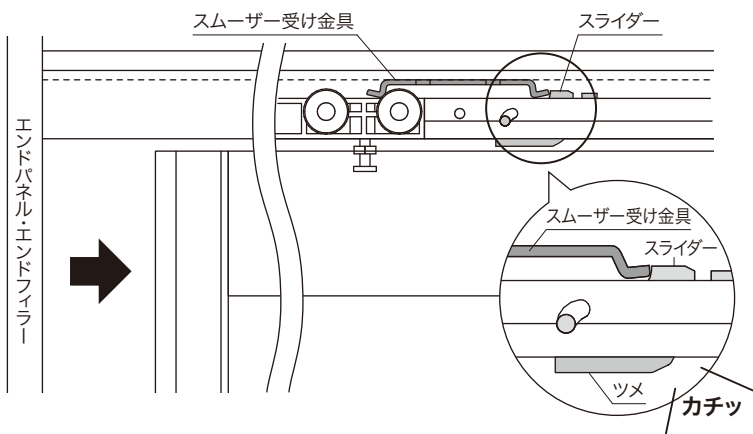


2 扉を開く

スムーザー受け金具が見えるまで扉を開いてください。
正常に自動復帰するとカチッと音がし、吊車(スムーザー有)下側にツメが出てきます。

ご注意

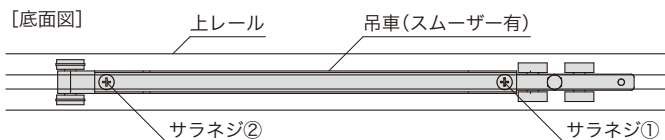
開閉はゆっくりと行ない、スムーザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



3 スムーザー自動復帰の確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。(7 参照)
スムーザーが正常に動作するまで、上記 1・2 を繰り返してください。

吊車(スムーザー有)メンテナンス方法 (スムーザー部分を交換する場合のみ)



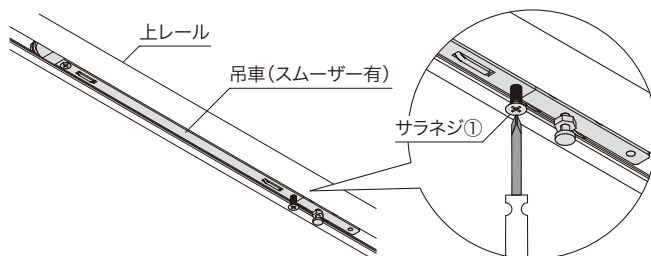
ご注意

電気式ドライバー禁止



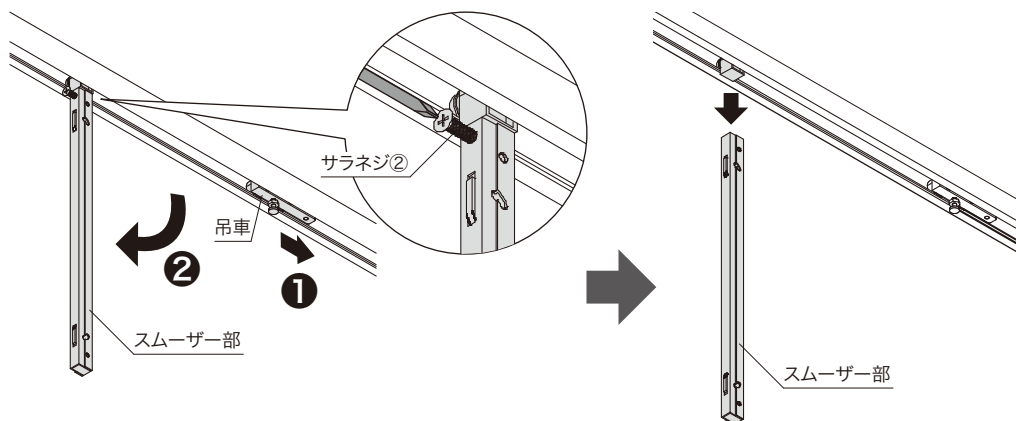
1 扉、ビスの取り外し

扉を外し、吊車(スムーザー有)のサラネジ(上図①)を取り外します。



2 スムーザー部の引き抜き

吊車とスムーザー部を引き離すと、スムーザー部が上レールから垂れた状態になるのでサラネジ(左図②)を取り外し、下に引き抜いてください。



3 スムーザー部の取り付けは逆の手順で行なってください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名:キッチン収納 ユニモ2
製造者名称:南海プライウッド(株)
発散区分:F☆☆☆☆
ロット番号:製品梱包に記載

- 構成材料 -

部材・部位	材料名	表示区分	認定・登録種類	認定・登録番号	認定登録機関
トップユニット・ フロアユニット・ 棚板	アートランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-000091	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
天板・幕板・ エンドパネル・ エンドフィラー	オレフィン化粧ランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002704	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
スライドテーブル	金属調化粧ランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002821	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。
問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業
グループ

首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第3チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業
グループ

近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業
グループ

北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業
グループ

特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第3チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669